

テキスト・演出 岡田利規

共同振付：岡田利規、湯浅永麻、太田信吾
 出演：湯浅永麻、太田信吾

わたしは 幾つもの バナナ フライヴの バトル フールド

2022
 9.1 (木) 9.2 (金) 19:00
 9.3 (土) 9.4 (日) 14:00/18:00
 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

【チケット料金(全席指定・税込)】
 一般：4,500円／メンバーズ：4,200円／U-25：2,500円*
 *公演時25歳以下対象。入場時要身分証明書。
 【チケット発売日】一般2022.7.3(日)／メンバーズ6.26(日)
 【チケット取扱い・お問合せ】
 SAFチケットセンター
<https://ticket.aserv.jp/saf/> TEL: 0570-064-939 (休館日を除く10:00-19:00)
 イープラス / チケットぴあ
 主催・企画・制作：彩の国さいたま芸術劇場(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団)
 助成：Dance Reflections by Van Cleef & Arpels
 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
 独立行政法人日本芸術文化振興会



こ
と
ば
が
生
み
出
す
新

た
な
へ
ダ
ン
ス
の
か
た
ち



わたしが
 やりが
 出なす
 て
 わたし
 が
 出なす
 て
 わたし
 が
 出なす
 て
 わたし
 が
 出なす
 て
 わたし
 が
 出なす
 て

そなた
 たん
 とな
 の
 へは

の
 こと
 を
 なん
 と
 い
 う
 か
 へ
 怪
 し
 い
 の
 的
 な
 感
 じ
 に
 人
 に
 よ
 っ
 て
 は
 思
 う
 だ
 ろ
 う
 な
 ど
 い
 う
 の
 は

フ
 ォ
 ロ
 ワ
 ー
 三
 十
 万
 人
 くら
 い
 い
 る
 人
 な
 ん
 で
 す
 け
 ど

Photo: 大淵博晴

「わたしたちはナラティブに振り付けられて現実を生きている」

岡田利規『明日を探る身体』

2021年3月上演プログラムより

2022

9.1(木) 9.2(金) 19:00, 9.3(土) 9.4(日) 14:00/18:00

彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

※演出の都合により、開演時間に遅れたり途中退場されますと、ご予約席へのご案内ができない場合がございます。予めご了承ください。

2021年3月、彩の国さいたま芸術劇場の育成・創造プロジェクト「さいたまダンス・ラボラトリVol.1.3公演『明日を探る身体』」にて、ワーク・イン・プログレスとして発表された『わたしは幾つものナラティブのバトルフィールド』。

テキスト(言葉)と身体との従来の関係を更新し続け、現代社会の課題に批評的な視点から切り込んできた演劇作家・小説家の岡田利規。その岡田がテキスト・演出を担い、ダンサー・振付家の湯浅永麻がそれらを身体に取り入れ語り、踊ったワーク・イン・プログレスでは、作品全体の第一部が披露されました。SNS上で展開する主張を導入として、湯浅の身体をフィールドに他者たちの言説が飛び交った第一部に加え、この秋、第二部、第三部を岡田が新たに書き下ろす完成版の上演が決定。更に岡田作品でも俳優として特異な存在感を示す太田信吾が舞台上に加わります。言葉が喚起し誘発する、これまでにない(ダンス)のかたち。どうぞご期待ください。



わたしは幾つものナラティブのバトルフィールド

テキスト・演出：岡田利規
共同振付：岡田利規、湯浅永麻、太田信吾
出演：湯浅永麻、太田信吾

【本作品の上演に向けて】

「さまざまなナラティブ——人の思考を規定するための物語——が世界にあふれ、できるだけ多くの支持を得ようとバトルを繰り返しています。そしてそのバトルが繰り返される場所、すなわちバトルフィールドになっているのはわたし自身にほかなりません。出演者であるダンサー、湯浅永麻さんの身体をバトルフィールド——すなわち諸状況に翻弄されまくる場所——ととらえてダンス作品をつくります。もう一人の出演者、俳優の太田信吾さんは翻弄する者、状況を引っかき回す者として作品に登場する予定です。

身体がナラティブのバトルフィールドであるということ。それはダンサーにだけ起きていることではむしろありません。わたしは誰しもの日常で頻繁に熾烈に生じていることです。このダンス作品は、ダンスと日々を生きるわたしたち——たとえダンスをしない人であっても——とも関係があるのだという当たり前のことを、しかしあらためて明らかにしたい、そのためのものでもあります」

——岡田利規



Photo: 大河博樹



©宇藤山真久子

岡田利規 Toshiki Okada

演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。“想像”を用いた独特な言葉と身体の関係性による方法論や、現代社会への批評的な眼差しが評価され、国内外で注目を集める。2005年「三月の5日間」で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。主宰する演劇カンパニー・チェルフィッチュでは2007年に同作で海外進出を果たして以降、世界90都市以上で上演。近年では欧州の公立劇場のレパートリー作品も手がける。2005年7月「クーラー」でTOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005—次代を担う振付家の発掘—最終選考会に出場。森山未來、酒井はな、湯浅永麻などダンサーとのコラボレーションも多数。



©柘植伊佐夫

湯浅永麻 Ema Yuasa

ダンサー・振付家。モナコ公国プリンセスグレースアカデミーを首席卒業後、ネザーランド・ダンス・シアターに約11年間所属。退団後、スウェーデン王立バレエのマツ・エック版『Juliet & Romeo』ジュリエット役、サンヤ・ヴァルツ『Körper』などに客演。シディ・ラルビ・シェルカウイ率いるEASTMANにも所属。異ジャンルアーティストとのコラボレーションプラットフォームXHIASMA(キアスマ)プロジェクトを立ち上げ数々の作品を発表。第13回、15回日本ダンスフォーラム賞を受賞。現在はダミアン・ジャレ/名和晃平の新作に参加するなど国内外で多岐にわたって活動している。



©bozzo

太田信吾 Shingo Ota

映画監督・俳優。大学では哲学・物語論を専攻。処女作の映画『卒業』がイメージフォーラムフェスティバル2010優秀賞・観客賞受賞。初の長編映画『わたしに許された特別な時間の終わり』が山形国際ドキュメンタリー映画祭2013で公開後、世界12カ国で公開。近作に映画『解放区』など。俳優としてはチェルフィッチュ「三月の5日間」香港公演(2010年)にて初舞台出演後、演劇作品のほか、映像作品などに出演。2022年、志賀直哉の短編小説に着想を得た映画『現代版城崎にて』が公開予定。また、パフォーマンズ作品『最後の芸者たち』が東京、大阪、兵庫にて上演決定。

チケット料金(全席指定・税込)

一般：4,500円/メンバーズ：4,200円/U-25*：2,500円 *公演時25歳以下対象。入場時要身分証明書。
※未就学児入場不可。※メンバーズチケットのご予約はSAFチケットセンターで承ります。※営利目的での転売を禁止します。

チケット発売日

一般2022.7.3(日)/メンバーズ6.26(日)

チケット取扱い・お問合せ

- SAFチケットセンター [電話] 0570-064-939(休館日を除く10:00~19:00)
[ウェブ] <https://ticket.aserv.jp/saf/>(SAFオンラインチケット)
- [窓口] 彩の国さいたま芸術劇場(休館日を除く10:00~19:00) / 埼玉会館(休館日を除く10:00~19:00)
- イープラス <https://eplus.jp> ● チケットぴあ <https://t.pia.jp>

(大切なお願い)新型コロナウイルス感染拡大防止について

当劇場では、皆様安心して公演をお楽しみいただけるよう対策を徹底し公演を開催いたします。ご来場前に必ず劇場HPの【財団主催公演】新型コロナウイルス感染症対策とご来場の皆様へのお願い【】で最新情報をご確認ください。皆様のご協力をお願いいたします。



主催・企画・制作：彩の国さいたま芸術劇場(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団)

助成：Dance Reflections by Van Cleef & Arpels. 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

彩の国さいたま芸術劇場のご案内

◆ JR埼京線「与野本町駅」下車徒歩7分
◆ 新大宮バイパス「上峰交差点」より200m

- 開場は開演の30分前です。
- やむを得ぬ事情で公演内容の一部を変更することがございますので、ご了承ください。
- 2歳以上の未就学児に対して託児のご予約を承ります。(お子様一人に対して1,000円の負担金をいただきます。)公演一週間前までに【株式会社】048-240-5000までお申込みください。(受付時間/土・日・祝を除く9:00~18:00)定員になり次第締め切らせていただきます。
- 駐車場(有料)は台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

JR埼京線 池袋駅から普通約29分、快速約25分、新宿駅から快速約30分



公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
TEL.048-858-5500(代) FAX.048-858-5515
<https://www.saf.or.jp>

◎ @saitamaartstheater
● @Dance_SAF
● @saitamaartstheater